

特集：産学連携による教育システム情報学の価値創造と今後の展開

香川大学の産学連携／共創の取り組みについて

米谷 雄介*, 後藤田 中*, 喜田 弘司*, 國枝 孝之*, 八重樫 理人*

Industry-Academia Collaboration/Co-Creation Initiatives
in Kagawa University

Yusuke KOMETANI*, Naka GOTODA*, Koji KIDA*, Takayuki KUNIEDA*, Rihito YAEGASHI*

Kagawa University has been implementing various education and research initiatives based on industry-academia collaboration/co-creation with the aim of “providing educational opportunities with diverse faculty members” and “deepening discussions and understanding between those who develop human resources and those who utilize them”. In this paper, we describe these initiatives implemented in Kagawa University and the knowledge gained through these initiatives.

キーワード：産学連携／共創，多様な教員による教育機会の提供，デザイン思考

1. はじめに

「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン⁽¹⁾」では、高等教育機関に対して「学修者本位の教育への質的転換」を目指し、「多様な価値観を持つ多様な人材が集まることにより新たな価値が創造される場」＝「多様な価値観が集まる場」としての役割を果たすべく、特に教育では、「実務家教員，若手，女性，外国籍など『多様な教員』による教育機会の提供」を求めている。それと同時に、「経済・社会の発展をもたらす高等教育の在り方について、『人材を育成する側と人材を活用する側で議論と理解を深めていく』必要がある」と述べている。

香川大学は、2018年4月に新たに創造工学部を設置した。創造工学部は、社会や人々のニーズにフィットしたイノベーションを創出する人材の育成を目指し、特に「デザイン思考」「リスクマネジメント」能力の育成を目指し⁽²⁾、さまざまな取り組みを実施している。「デザイン思考」の定義は諸説あるが、創造工学部では「製品に対する審美力を持ち、ユーザが潜在

的に求めている価値等を追求することで得られた抽象的なアイデアから、実現可能なプランに落とし込み、全く新しい価値を生み出す思考プロセス（手順）⁽²⁾と定義し、「試作」→「テスト」→「改善」を繰り返しながら、問題解決やイノベーション創出をすすめていくことを求めている。また、イノベーション創造には、必ずリスクが伴う。創造工学部では、「リスクマネジメント」は、「あらゆるリスクを想定して未然に防ぎ、緊急時に対応するための一連の計画・統制の過程⁽²⁾」と定義している。

香川大学は、「デザイン思考」能力育成に関する取り組みとして、株式会社リコーと「IoT人材育成教育プログラム」を共同開発した⁽³⁾。また、「リスクマネジメント」能力育成に関する取り組みとして、ネットワークシステムズ株式会社と「情報セキュリティ教育プログラム」を共同開発した⁽⁴⁾。香川県警とは、サイバーボランティアパトロール隊結成に向けて、「サイバーボランティア人材育成に関する取り組み」を実施した⁽⁵⁾⁽⁶⁾。これら香川大学が実施した人材育成に関する取り組みは、「2040年に向けた高等教育のグラ

* 香川大学創造工学部 (Faculty of Engineering and Design, Kagawa University)